



## 授業デザインミーティング実施

全校縦割りで授業デザインミーティング2回目が行われました。今回は、授業内容の評価や児童生徒の変容を中心について話し合い、他学部からの意見、アイデアをもらうことができました。今回は、小学部1・2年遊びの指導、小学部4年生活単元学習、中学部2、3年職業・家庭科、高等部2、3年職業科の様子についてお伝えします。

### 小学部1・2年 遊びの指導



授業デザインミーティング②8/22 A 小学部1・2年遊びの学習  
授業内容の評価 生徒の変容など



### 話題になった内容

- ・スタンプラリーやペアでの活動の機会を設定し、遊びに変化を付けるようにしたい。
- ・友達と協力する楽しさを味わわせたり、頑張った後のお楽しみコーナーを設定したりして遊びを広げたい。
- ・片付けに必要な感を持てるようにしたり、場面展開を工夫したりしながら片付けの活動を展開したい。
- ・モデルになる児童を上手く活躍させながら遊びの準備、活動、片付けなど楽しんでできるように展開したい。

### 小学部4年 生活単元学習



授業デザインミーティング②8/22 D 小4 生活単元学習  
授業内容の評価 生徒の変容など



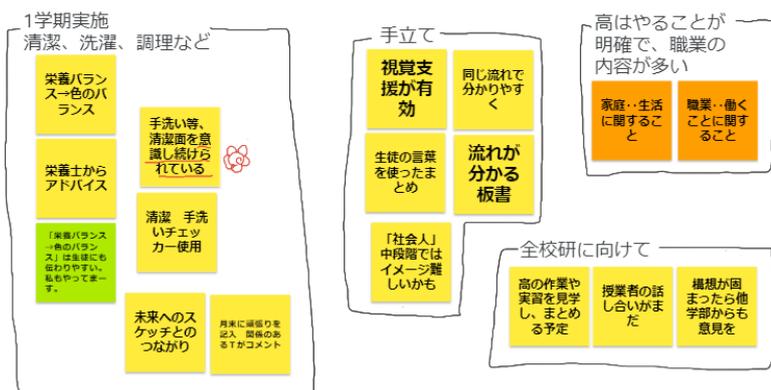
### 話題になった内容

- ・2年生に教えることを意欲としてタオル畳みを頑張っていた。
- ・家庭で手伝いをしたり、話し合いの方法を知ったりと授業を積み重ねた成果が見られた。
- ・話し方、聞き方などのルールを教えていきたい。
- ・中学部や高等部から教わったり、相手に発表したりする機会を設定してみてもどうか。
- ・まだ話し合いへの参加は難しい児童もいる。自己選択の経験を積み重ね、話し合いにつながる素地を作りたい。

### 中学部2年 職業・家庭科



授業デザインミーティング②8/22 B 中2 職業・家庭科  
授業内容の評価 生徒の変容など



### 話題になった内容

- ・1学期は手洗いの練習を繰り返し、清潔を意識付けし、調理へつなげた。
- ・2学期も手洗いや汗の始末など、清潔面を指導したい。
- ・栄養バランスを色で示したことで、生徒が栄養に注目して考えることができた。
- ・栄養士からのアドバイスがとても効果的だった。
- ・視覚支援が有効な生徒が多く、授業の流れを意識できるように板書したり、授業展開を工夫したりしたい。
- ・生徒からの言葉を使いながら授業をまとめるようにしている。
- ・高等部の作業や実習を見学したり、ビルクリーニング班や食品加工班から教えてもらったりする機会をもちたい。

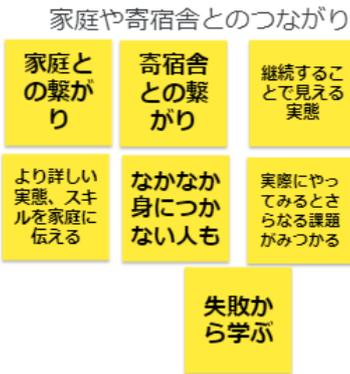


授業デザインミーティング②8/22  
授業内容の評価

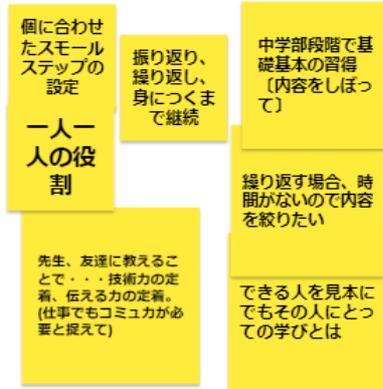
C 中3 職業・家庭科

生徒の変容など

話題になった内容



役割、繰り返しの設定



- 家庭や寄宿舎とのつながりを大事にしたい。できたこと、難しかったことを伝えたり、家でも取り組んでもらえるようにしたりして連携する。
- 中学部段階での基礎・基本が身に付くように、個に合わせてスモールステップで進める。
- 誰かに教えることで、技術やコミュニケーションの充実につなげたい。
- うまくいかない、できない、失敗などの体験からどうしたらうまくできるか考えられるようになってほしい。
- 中学部段階で様々な経験、体験を積んでほしい。

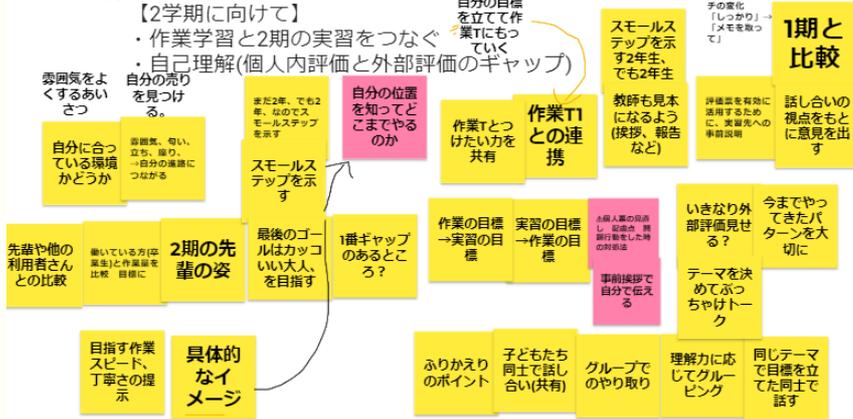


話題になった内容

授業デザインミーティング②8/22

E 高2 職業科IIグループ

生徒の変容など



- 今の自分の状況を知り、何が必要か何を頑張ればよいか分かるようにしたい。
- 実習先、作業T1、関係各所に自分の強みや支援してほしいことなどを自分で伝えられるようにしたい。
- 自分の得意なことを見付け、自己理解につながるようにしたい。
- 作業の目標と実習の目標がどちらも日常生活に生かすことができるように設定したい。
- 1期と2期の実習がつながるように、自分の進路希望と重ねて考え、仕事内容や仕事先の雰囲気などが自分に合っているかどうか考えられるようにする。

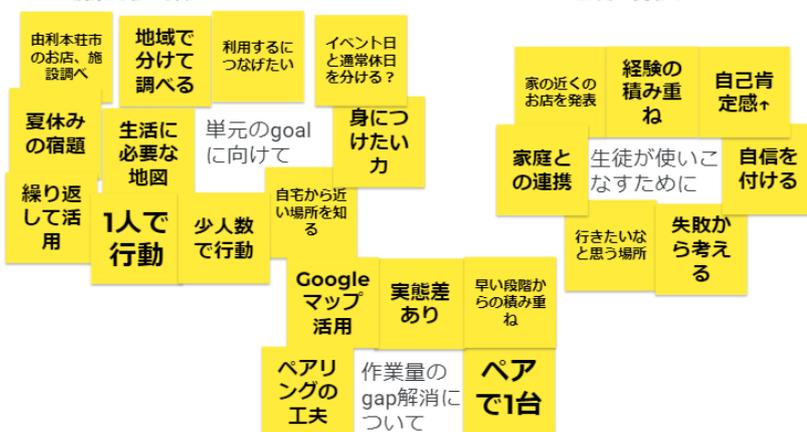


話題になった内容

授業デザインミーティング②8/22

F 高3職業科IIグループ

生徒の変容など



- 卒業後を見据え、友達や家族と利用したい。また、利用できるよう施設を増やしたい。
- 実態差があるグループであるが、ペアリングを工夫し、ペアで教え合いながらタブレット端末で施設を一人で調べられるようになってほしい。
- 身に付けたい力を保護者も学校も明確にし、様々な経験を積み重ねられるようにしたい。
- まずは、自分の家の近くから調べる。範囲を広げて行きたいな、やってみたいと思う場所が出てくればうれしい。
- コロナ禍で校外学習がほとんどできなかった学年である。まずは、生徒が行ってみたいと思う所からスタートし、失敗経験から学ぶチャンスもある。
- 小学部、中学部の段階では、卒業後の地域生活につなげていけるよう、公共交通機関の利用、食事メニューを自分で選ぶ等の経験・活動を段階的に積み重ねていきたい。

